

♠ 5月の休日当番医 ♠

医 科	
◆ 1 日(土)午後5時～ 3 日(月)午前8時	獨協医大日光医療センター ☎76-1515
◆ 3 日(月)午前8時～ 5 日(水)午前8時	日光市民病院 ☎50-1188
◆ 5 日(水)午前8時～ 6 日(木)午前8時	今市病院 ☎22-2200
◆ 8 日(土)午後5時～10日(月)午前8時	川上病院 ☎22-2311
◆15日(土)午後5時～17日(月)午前8時	森病院 ☎22-1024
◆22日(土)午後5時～24日(月)午前8時	今市病院 ☎22-2200
◆29日(土)午後5時～31日(月)午前8時	獨協医大日光医療センター ☎76-1515

歯 科	
診療時間…午前10時～午後4時	
◆ 2 日(日)	小林歯科医院 ☎22-0303
◆ 3 日(月)	斎藤歯科クリニック ☎26-3110
◆ 4 日(火)	吉原歯科医院矯正歯科 ☎22-6480
◆ 5 日(水)	てづか歯科医院 ☎53-1956
◆ 9 日(日)	いわせ歯科口腔外科クリニック ☎32-7311
◆16日(日)	佐々木歯科医院 ☎77-0712
◆23日(日)	宮川イースデンタルクリニック ☎53-6480
◆30日(日)	みむら歯科医院 ☎22-9322

♠ 休日急患こども診療所 ♠

ところ	今市保健福祉センター
診療日	日曜日・祝日・振替休日
診療科目	小児科
受付時間	午前 9 時～11時30分 午後 2 時～ 4 時30分 午後 7 時～10時
電話番号	☎30-7299(診療日のみ)

♣ 成人健康診査(完全予約制) ♣

と き	会 場	受付時間(予定)	①	②	③	④	⑤	⑥
7 日(金)	中央公民館	午前 8 時30分～10時30分	○	○	○	○		
10日(月)	鶏頂地区活性化センター	午前 9 時00分～10時30分	○	○	○	○		
11日(火)	上間藤集会所	午前 9 時00分～10時30分	○	○	○	○		
12日(水)	横川公民館	午前 9 時00分～10時30分	○	○	○	○		
13日(木)	日光総合会館	午前 8 時00分～10時30分	○	○	○	○		
14日(金)	南原コミュニティセンター	午前 7 時00分～10時30分	○	○	○	○		
18日(火)	大原集会所	午前 8 時00分～10時30分	○	○	○	○		
21日(金)	大沢地区センター	午前 7 時30分～10時30分	○	○	○	○	○	
22日(土)	中央公民館	午前 8 時30分～10時30分	○	○		○		
26日(水)	豊岡支所	午前 7 時00分～10時30分	○	○	○	○	○	
27日(木)	南原コミュニティセンター	午前 7 時00分～10時30分	○	○	○	○		
28日(金)	日光福祉保健センター	午前 8 時00分～10時30分	○	○	○	○		
29日(土)	日光福祉保健センター	午前 8 時00分～10時30分	○	○		○		○
31日(月)	今市保健福祉センター	午前 7 時00分～10時30分	○		○			

- ◇健康診査申込書により申し込みをした方には、各健診日の約2週間前に受診票を郵送します。申し込みをしていない方は、各健診日の2週間前までに電話で予約をしてください。
- ◇受付時間は予定であり、変更する場合があります。事前に送付する受診票で必ずご確認ください。
- ◇社会保険に加入の方が、特定健診を受診する場合は、加入している保険から送られた特定健康診査受診券と健康保険証が必要です。なお、受診する日にほかのがん検診を申し込んでいる場合は予約の必要がありませんが、特定健診だけを受診される場合は、各健診日の2週間前までに電話で予約をしてください。
- ◇過去に肝炎ウイルス検査を受診していない方で、肝炎ウイルス検査の受診を希望する方は、各健診日の2週間前までに電話で予約をしてください。
- ◇■の色付きの日は女性のみの健診日です。
- 健康診査・検診項目 …①特定健康診査(40歳～74歳までで国民健康保険に加入の方)、はつらつ健康診査【おもに75歳以上で、長寿(後期高齢者)医療制度に加入の方】、胃・肺・大腸がん検診 ②子宮がん検診(40歳以上で偶数年齢)、乳がん検診【マンモグラフィ・超音波(40歳以上で偶数年齢)、超音波(40歳以上)】 ※子宮がん検診・マンモグラフィは、奇数年齢でも前年度未受診者の方は受診できますが、事前に予約が必要です。 ③前立腺がん検診 ④骨粗しょう症検診(40歳から5歳間隔で70歳まで) ⑤歯科健康診査 ⑥若い女性の健診…20歳から39歳までの女性が対象【一般健康診査・骨粗しょう症検診(20、25、30、35歳)、子宮がん検診(偶数年齢)、乳がん検診(30歳～39歳)】

♣ 成人健康相談 ♣

内 容	と き	会 場	受付時間
総合健康相談	7 日(金)	今市保健福祉センター	午前 9 時30分～10時30分
※栄養相談を含む	11日(火)	藤原保健センター	午前10時～正午

- ◇お住まいの地域にかかわらず、どちらの会場でも相談可能です。
- ◇健康課成人健康係では、随時相談をお受けしますので、ご連絡ください。

♣ 乳幼児健康診査・相談・予防接種 ♣

内 容	対象地域(地区)	と き	受付時間	会 場
4 か月児健診	足尾地域	18日(火)	午後 1 時～ 1 時30分	銅やまなみ館
	今市・塩野室	19日(水)		今市保健福祉センター
	日光地域	26日(水)	午後 1 時～ 1 時15分	日光福祉保健センター
	豊岡・落合・大沢	27日(木)		今市保健福祉センター
	藤原地域	31日(月)		藤原保健センター
8 か月児健診	今市・塩野室	13日(木)	午後 1 時～ 1 時30分	今市保健福祉センター
	足尾地域	18日(火)		銅やまなみ館
	豊岡・落合・大沢	20日(木)	午後 1 時15分～ 1 時30分	今市保健福祉センター
	日光地域	26日(水)		日光福祉保健センター
	藤原地域	31日(月)		藤原保健センター
1 歳 6 か月児健診	今市・塩野室	12日(水)	午後 1 時～ 1 時30分	今市保健福祉センター
	足尾地域	18日(火)		銅やまなみ館
	日光地域	19日(水)	午後 1 時～ 1 時15分	日光福祉保健センター
	豊岡・落合・大沢	21日(金)		今市保健福祉センター
	藤原地域	24日(月)		藤原保健センター
2 歳児 歯科健診	今市地域全地区	6 日(木)	午後 1 時～ 1 時30分	今市保健福祉センター
	足尾地域	18日(火)		銅やまなみ館
3 歳児健診	足尾地域			
	今市・塩野室	26日(水)	午後 1 時～ 1 時30分	今市保健福祉センター
豊岡・落合・大沢	28日(金)			
12か月児相談	日光地域	10日(月)	午前 9 時30分～10時	日光福祉保健センター
	藤原地域	11日(火)	午前10時～10時30分	藤原保健センター
	足尾地域	18日(火)	午後 1 時～ 1 時30分	銅やまなみ館
	今市地域全地区	27日(木)	午前 9 時～10時	今市保健福祉センター
すくすく 子育て相談 ※母子健康 手帳持参	今市地区	7 日(金)	午前 9 時30分～11時	今市保健福祉センター
	豊岡地区			豊岡支所
	日光地域	10日(月)	午前 9 時30分～11時	日光福祉保健センター
	藤原地域	11日(火)	午前10時～10時30分	藤原保健センター
	落合地区	14日(金)	午前 9 時30分～11時	落合公民館
	大沢地区			大沢地区センター
	塩野室地区			塩野室支所
	足尾地域	18日(火)	午後 1 時～ 1 時30分	銅やまなみ館
ポリオ 予防接種 ※下欄参照	今市地域全地区	20日(木)	午後 2 時～ 2 時50分	今市保健福祉センター
		21日(金)		
		24日(月)		
		25日(火)		
	日光地域	24日(月)	午後 1 時45分～ 2 時15分	日光福祉保健センター
		25日(火)		
	栗山地域	27日(木)	午後 1 時15分～ 1 時30分	湯西川公民館
藤原地域	28日(金)	午後 1 時～ 1 時30分	藤原保健センター	

- ◇各健診の対象児は、受診日に対象月齢・年齢に達している乳幼児です。
- ◇健診・接種ともどの会場でも受けられますが、お住まいの地域以外の会場で受ける場合は、健康課まで必ずご連絡ください。
- ◇ポリオ予防接種…平成21年7月1日～12月31日生まれ、または7歳半未満で2回接種していない乳幼児が対象。なお、飲むワクチンなので下痢をしている乳幼児は受けられません。

られる抗体価の10倍以上が維持されるといわれています。

発がん性HPVに感染する可能性が低い10代前半にこのワクチンを接種することで、発症をより効果的に予防できます。

最後に、平成21年10月16日発表の日本小児学会、日本産婦人科学会、日本婦人科腫瘍学会の共同声明を掲載します。

①HPVワクチン接種が広範に行われることにより、将来、わが国における子宮頸がんの発生を70%減少させることが期待できる。このことはわが国の女性とその家族に幸福をもたらしただけでなく、子宮頸がん治療に要する医療費を大幅に抑制することにつながる。

②11・14歳の女子に対して優先的にHPVワクチンを接種することを強く推奨する。なお、接種の費用については公的負担とすべきである。

③現行のHPVワクチン接種を行っても、子宮頸がんの発症をすべて予防できるわけではない。従って、子宮頸がん検診は今後も重要である。また、ワクチン接種者のフォローアップ体制が構築されることが望ましい。

がんを予防できるワクチン

子宮頸がんは、婦人科領域のがんの中で乳がんに次いで発生率が高く、20・30歳代の女性で近年増加しています。日本では毎年1万5千人の人が子宮頸がんにかかり3千500の人が死亡していると推定されます。

その原因は、発がん性HPV(ヒトパピローマウイルス)と考えられており、性的接触により感染します。発がん性HPVは、多くの女性が一生のうちに一度は感染するごくありふれたウイルスで、感染しても多くの場合は自然に排泄されますが、感染した状態が長く続くと子宮頸がんを発症することがあります。

このウイルスの16型、18型が主な原因と考えられ、これを防ぐワクチンが開発されました。

このワクチン接種により、HPV16／18に対する免疫応答を強力かつ持続的に誘導します。3回の接種により自然感染に得

元気予報

今市医師団幹事
吉原医院 吉原光恵

